

神話『ブルーポールズ』

向殿 充浩

補足説明:

土取利行さんとサヌカイト

第3巻において、ユビュがバルマン師に不思議な音の鳴る石のことを教え、バルマン師がその石を使った楽器を作って演奏する場面が出てきます。

これは、土取利行氏の「サヌカイト」をモデルにしています。

サヌカイトは讃岐(香川県)などで産出する石で、土取利行氏は、この石を用いた楽器を用いた演奏を行い、『サヌカイト』のレコード、CDなどを出しておられます。

私が土取利行氏のことを初めて知ったのは、ピーター・ブルック演出の『マハーバーラタ』の東京公演を見たときでした。この公演で土取氏は音楽を担当しており、その演奏だけでなく、舞台の端で『マハーバーラタ』の各場面にぴったりの音楽を奏で続ける土取氏の姿に非常に強いインパクトを受けたものでした。

その後、土取氏のレコードやCDを購入して、それらは私にとってもたいへん貴重なものでした。1995年、たまたま、茨城県立美術館で土取氏の演奏と講演の会に行き、そのときは、少しだけ話をさせていただき、一緒に写真に写っていただきました。また、持っていった『サヌカイト』レコードのジャケットにサインをいただきました。土取さんが、「このレコードを持ってもらっているんですか。」と驚いたように言われたのを今でも覚えています。

(2014年掲載 / 最新改訂:2024年5月)